

令和7年度 選挙管理委員会事務局 運営方針

『選挙の確実な執行と積極的な投票参加の推進』

I 基本目標

～若年層や子育て世代をはじめすべての世代の意思が市政に届くよう「公正かつ円滑な選挙の執行管理」及び将来にわたる「持続可能な選挙執行に向けた調査・研究」を行うとともに、誰もが「投票しやすい環境づくり」と積極的な投票参加を促すための「効果的な啓発事業」を推進します～

II 目標達成に向けた施策

1 公正かつ円滑な選挙の執行管理

- 7・8月執行予定の参議院選挙・横浜市長選挙の公正かつ円滑な執行
- 2つの選挙が短期間で執行されることを踏まえた、全市を挙げた選挙体制の構築（区への応援体制等の拡充）、及び選挙人への着実な広報
- 急施を要する選挙等について公正かつ円滑に対応できる体制の構築

2 投票しやすい環境づくり

- 期日前投票所等の利便性向上の推進
- 期日前投票所における混雑対策の実施
- 「誰もが投票しやすい投票所」への取組の推進
- 新たに導入する選挙人名簿標準システムへの円滑な移行

3 持続可能な選挙執行に向けた調査・研究の推進

- 持続可能な投票所運営に向けた各種施策の検討及び実施
- 共通投票所の円滑な導入に向けた技術面の検証及び執行体制の検討
- 開票の迅速化に向けた改善取組の検討及び実施
- デジタル技術・データの活用による選挙業務の見直し・利便性向上

4 効果的な啓発事業

- 参院選・市長選の投票率向上を目指した効果的な啓発活動の実施
- 若年層や子育て世代を含む幅広い世代への啓発と主権者教育の推進
- 「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成と連動した啓発の実施
- 地域で活動する明るい選挙推進員等との対話機会の拡充

III 目標達成に向けた組織運営

区選管、関係機関等との連携・協働

上記目標の達成に向けて、区選管、関係機関、自治会等と連携・協働しながら、選挙業務の見直し等を推進するとともに、あらゆる機会を通じてリスクの共有を図り、ミス防止に努めます。

また、2つの選挙が短期間で執行されることを踏まえ、区への応援体制等を拡充します。

人材育成と情報共有の推進による

“チーム選挙”の総合力アップ

横浜市人材育成ビジョンを踏まえ、実務知識やノウハウを共有・継承するための機会等を創出し、区・市選管職員のスキル及びモチベーションの向上に取り組めます。

また、国や他都市の動向を踏まえ、状況の変化にも対応できるチーム力の向上に努めます。

市民の信頼に応える適正な事務執行と業務改善の推進

基本を大切に、選挙に関連した法令遵守が徹底されるよう、引き続き取り組みます。

横浜市内部統制基本方針や DX 戦略を踏まえ、データと事実に基づいた適切で効果的な事務の執行を推進します。

ペーパーレスや会議効率化、生成 AI の活用等、時代に合わせた業務改善を推進します。

働きやすい職場環境への取組の推進

計画的、効率的な業務執行により、超過勤務の縮減を図ります。

We プランに基づき、ライフステージ等に応じた多様な働き方を支援し、より一層ワークライフバランスの実現を推進します。